



ていただきます！

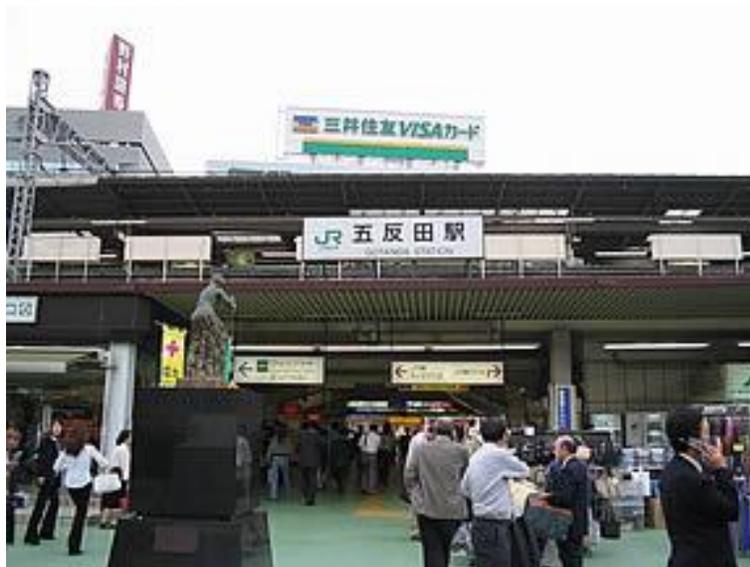
ところで、今回の山手線は『五反田』です。五反田という地名は、江戸時代、目黒川の谷周辺の水田が、一区画 5 反(約 1500 坪)あったために名付けられたといわれています。そんな五反田は、洗練された高級住宅地でありながら、風俗店やラブホテルも多くある、相反する 2 つの顔を持つ街のようです。

東五反田周辺には江戸時代、岡山池田藩の下屋敷があった“池田山”や、明治時代、薩摩島津侯爵家の邸宅があった“島津山”。北品川四丁目周辺には、かつて徳川家康が建立した品川御殿の“御殿山”があり、歴史的なエリアといえます。

一方、大正時代に五反田周辺で発見された鉱泉により、温泉旅館ができ、新しい花街として急激に発展しました。とくにお隣の大崎駅周辺の工場群で働く人たちの多くがこの歓楽街を支えていたようです。

他の花街同様、五反田花街も時代とともにすたれ、飲食店や風俗店に変化していきました。が、近年、五反田は更なる変化をしています。

「五反田バレー」この言葉を聞いたことがあるでしょうか？再開発により家賃が高騰している渋谷で起業が難しかった IT ベンチャー企業が五反田に集まってきているのです。現在では 400 社以上の企業が集まってきており、行政も助成金の交付をするほど新興企業のバックアップに力を入れているようです。そんな五反田のこれからが楽しみです。



.....  
(3) JICC クルーによるリレーコラム Vol.9

(ペンネーム:ヨッシー)

~日本人と3拍子~  
.....

巷で流れる日本の音楽は、そのほぼ全てが4拍子のリズムであることをご存知でしょうか。外国では一般的な3拍子も、日本人からすると「苦手なリズム」だと認識されている様です。では、一体何故そうなったのでしょうか。

諸説あるようですが、日本人の DNA に刻まれた“農耕文化”と深い関係があるといわれています。農耕民族である日本人に染みついた作業の仕方が、「おいっちにい、おいっちにい、の4拍子(2拍子)」、一方で、狩猟騎馬民族の西洋人は「パッカパッカパッカ、パッカパッカパッカの3拍子」だからだと言われているそうです。

「盆踊り」や「演歌」など、そのほとんどは4拍子や2拍子などの、偶数拍子系の音楽です。そもそも日本で最初に3拍子の曲が作られたのは1896年(吉田信太作曲:港)との事ですので、まだ120年くらいの歴史しかないのです。

いやいや日本には「三三七拍子」がある!という声が聞こえてきそうですが、よくリズムを分解してみると、

ぱん ぱん ぱん (休符)

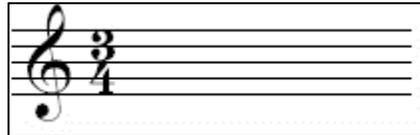
ぱん ぱん ぱん (休符)

ぱん ぱん ぱん ぱん ぱん ぱん ぱん (休符)

・・・と実のリズムは見事な4拍子であることが分かります。

日本人にはあまり馴染みがない3拍子の音楽ですが、実は2拍子・4拍子の音楽に比べて、リラックス効果が強いとされています。一説には「心臓のリズムが3拍子だから、3拍子を聞くとリラックスする」という考えもあるようです。

ストレスが溜まりやすいご時世ですので、BGMに3拍子の音楽を選んでみても良いかもしれません。



\*\*\*\*\*  
最後までご覧いただきありがとうございました。今後ともご愛顧のほどよろしくお願い致します。  
▼「配信停止」をご希望の方は、お手数ですが以下をクリックし、その旨ご記入いただき送信下さい。▼

[sskjicca@jicc.org](mailto:sskjicca@jicc.org)

▽お送りしたこのメールは、送信専用ですのでこちらには、返信しないで下さい。▽